

特別企画：和歌山県内企業メインバンク調査

紀陽銀行が全地域、全業種でシェアトップ ～第2位はきのくに信金、上位2行でシェア8割超～

はじめに

北海道拓殖銀行の経営破たん以降、金融機関同士の経営統合・再編は大手銀行が中心になって行われてきた。近年は日本銀行のマイナス金利政策による貸出金利低下や人口減少のほか、フィンテックなどの技術革新を通じた異業種の金融分野進出による新たな金融競争の発生などにより、地域金融機関にも業界再編の波が押し寄せている。

近畿地区においても、関西アーバン銀行・近畿大阪銀行・みなと銀行の3行がそれぞれ経営統合することを発表、関西最大の地銀グループが誕生する。こうしたなかで急速に進展する地域金融機関同士の経営統合では、特に地域の中小企業に対する金融サービスへの影響も懸念され、企業と金融機関との関係性に変化が生じる可能性も指摘されている。

帝国データバンク和歌山支店では、2017年11月末時点の企業概要ファイル「COSMOS 2」に収録されている和歌山県内の企業（12,802社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。同調査は2017年1月に続き2回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なることがある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果（要旨）

1. 和歌山県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「紀陽銀行」で全体の63.9%を占めた。「きのくに信金」がシェア16.5%でこれに続き、この上位2行でシェア8割超を占める
2. 和歌山県内の企業を本社が所在する4地域別にみると、いずれの地域でも「紀陽銀行」がトップで、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「紀北エリア（和歌山市除く）」（66.7%）で最高
3. 和歌山県内の企業を業種別にみると、主要8業種で「紀陽銀行」がトップ、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「サービス」（67.8%）で最も高かった

1. 県内ランキング ～紀陽銀行が 63.8%でトップ～

和歌山県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「紀陽銀行」（和歌山市）が 8,181 社（前回調査比 67 社増）、構成比 63.9%（同 0.1 ポイント増）で、社数、シェアともに伸ばし、前回調査に続き 2 位以下に大きく差をつけて首位をキープ、和歌山県内では圧倒的な存在感を示した。2 位は「きのくに信金」（和歌山市）の 16.5%（2,112 社）。上位 2 行のシェア合計は 80.4%（同 0.2 ポイント増）とわずかなではあるが上位行への集中がさらに進んだ。

県内に本店を置く金融機関では、「新宮信金」（241 社、構成比 1.9%）が、前回調査比 3 社増加し、6 位に上昇した（前回 7 位）ほか、11 位には「紀南農協」（72 社、0.6%）が続いた。県外に本店を置く金融機関をみると、「南都銀行」（奈良市、367 社、2.9%）が 4 位に、「第三銀行」（三重県松阪市、240 社、1.9%）が 7 位に入った。「第三銀行」は前回調査比で 6 社減少し、順位をひとつ下げた。

メインバンク社数上位 20 行

順位	前回 順位	金融機関名	所在地	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	和歌山市	8,181	63.9%
2	(2)	きのくに信金	和歌山市	2,112	16.5%
3	(3)	三菱東京UFJ	東京都千代田区	426	3.3%
4	(4)	南都	奈良市	367	2.9%
5	(5)	三井住友	東京都千代田区	333	2.6%
6	(7)	新宮信金	和歌山県新宮市	241	1.9%
7	(6)	第三	三重県松阪市	240	1.9%
8	(8)	みずほ	東京都千代田区	96	0.7%
9	(9)	商工中金	東京都中央区	96	0.7%
10	(10)	りそな	大阪市中央区	94	0.7%
11	(11)	紀南農協	和歌山県田辺市	72	0.6%
12	(12)	関西アーバン	大阪市中央区	60	0.5%
13	(13)	ありだ農協	和歌山県有田市	52	0.4%
14	(15)	池田泉州	大阪市北区	51	0.4%
15	(14)	紀州農協	和歌山県御坊市	48	0.4%
16	(16)	ゆうちょ	東京都千代田区	37	0.3%
17	(17)	紀北川上農協	和歌山県橋本市	36	0.3%
18	(18)	百五	三重県津市	31	0.2%
19	(19)	ながみね農協	和歌山県海南市	21	0.2%
20	(21)	和歌山県信連	和歌山市	19	0.1%
	(20)	みくまの農協	和歌山県東牟婁郡	19	0.1%

2. 地域別シェアランキング

地域別¹にみると、全地域で「紀陽銀行」が1位、「きのくに信金」が2位となり、地域別にみても上位2行の強さが際立っている。「紀陽銀行」のシェアは、「紀北エリア（和歌山市除く）」（66.7%）で最高となった。また、全地域において順位の変動はなく、メインバンクの構成に変化は見られない。

3位以下では、各地域での特徴が見られた。「和歌山市」では、3位から5位までを三大メガバンクが占め、都市部でメガバンクが一定の存在感を示している。「紀北エリア（和歌山市除く）」では、奈良を基盤とする「南都銀行」が、前回調査比で0.2ポイントシェアを下げたものの3位となった。「紀中エリア」では、3位に「ありだ農協」、4位に「紀州農協」と地元農協がランクインしている。「紀南エリア」においても、当エリアを地盤とする「新宮信金」が3位に、「紀南農協」が6位に入っている。

地域別メインバンク社数上位行

【和歌山市】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	3,273	64.6%
2	(2)	きのくに信金	777	15.3%
3	(3)	三井住友	286	5.6%
4	(4)	三菱東京UFJ	213	4.2%
5	(5)	みずほ	86	1.7%
6	(6)	りそな	84	1.7%
7	(7)	商工中金	64	1.3%
8	(8)	第三	55	1.1%
9	(9)	南都	49	1.0%
10	(10)	池田泉州	44	0.9%

【紀北エリア(和歌山市除く)】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,935	66.7%
2	(2)	きのくに信金	381	13.1%
3	(3)	南都	316	10.9%
4	(4)	三菱東京UFJ	60	2.1%
5	(5)	紀北川上農協	36	1.2%
6	(6)	三井住友	34	1.2%
7	(7)	関西アーバン	22	0.8%
8	(8)	ながみね農協	21	0.7%
9	(9)	商工中金	18	0.6%
10	(10)	紀の里農協	15	0.5%

【紀中エリア】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1402	63.7%
2	(2)	きのくに信金	624	28.4%
3	(3)	ありだ農協	52	2.4%
4	(4)	紀州農協	44	2.0%
5	(5)	三菱東京UFJ	14	0.6%
6	(6)	三井住友	9	0.4%
	(8)	商工中金	9	0.4%
	(8)	ゆうちょ	9	0.4%
9	(9)	近畿産業信組	5	0.2%
	(9)	なぎさ信漁連	5	0.2%

【紀南エリア】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1571	59.5%
2	(2)	きのくに信金	330	12.5%
3	(3)	新宮信金	240	9.1%
4	(4)	第三	177	6.7%
5	(5)	三菱東京UFJ	139	5.3%
6	(6)	紀南農協	71	2.7%
7	(7)	百五	31	1.2%
8	(8)	みくまの農協	19	0.7%
9	(9)	ゆうちょ	11	0.4%
10	(10)	なぎさ信漁連	7	0.3%

¹エリアの区分は次のとおり

紀北エリア＝海南市、海草郡、紀の川市、岩出市、橋本市、伊都郡

紀中エリア＝有田市、有田郡、御坊市、日高郡

紀南エリア＝田辺市、新宮市、西牟婁郡、東牟婁郡

3. 業種別ランキング

主要8業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「サービス」「運輸・通信」「農林・漁業・水産」「不動産」）別の上位金融機関は以下の表の通り。「紀陽銀行」が全業種にわたって5割超のシェアを占めてトップとなった。とりわけ「サービス」は67.8%、「建設」は66.4%と高いシェアとなっている。

2位は全業種で「きのくに信金」が占めた。また、「三菱東京UFJ銀行」が「製造」「卸売」「小売」「不動産」で3位に、「三井住友銀行」が「サービス」「運輸・通信」で3位となった。

県内の金融機関では、「新宮信金」が「建設」「小売」「不動産」で5位、「サービス」で6位、「卸売」で7位にランクイン。県外の金融機関では、「南都銀行」が6業種で、「第三銀行」が5業種でランクインしている。

主要8業種別メインバンク社数上位行

【建設】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	2,835	66.4%
2	(2)	きのくに信金	806	18.9%
3	(3)	南都	104	2.4%
4	(4)	第三	94	2.2%
5	(5)	新宮信金	80	1.9%
6	(6)	三菱東京UFJ	72	1.7%
7	(7)	三井住友	58	1.4%
8	(8)	紀南農協	36	0.8%
9	(9)	ありだ農協	30	0.7%
10	(10)	関西アーバン	23	0.5%

【製造】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	912	60.4%
2	(2)	きのくに信金	229	15.2%
3	(3)	三菱東京UFJ	86	5.7%
4	(4)	南都	77	5.1%
5	(5)	三井住友	47	3.1%
6	(6)	商工中金	36	2.4%
7	(7)	みずほ	26	1.7%
8	(9)	第三	22	1.5%
9	(8)	りそな	21	1.4%
10	(10)	池田泉州	14	0.9%

【卸売】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	766	61.5%
2	(2)	きのくに信金	184	14.8%
3	(3)	三菱東京UFJ	69	5.5%
4	(4)	三井住友	59	4.7%
5	(6)	南都	38	3.0%
6	(5)	第三	34	2.7%
7	(7)	新宮信金	32	2.6%
8	(8)	みずほ	17	1.4%
9	(9)	りそな	12	1.0%
10	(10)	商工中金	10	0.8%

【小売】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,056	60.8%
2	(2)	きのくに信金	330	19.0%
3	(3)	三菱東京UFJ	83	4.8%
4	(4)	南都	62	3.6%
5	(5)	新宮信金	56	3.2%
6	(6)	第三	36	2.1%
7	(7)	三井住友	30	1.7%
8	(8)	りそな	16	0.9%
9	(9)	みずほ	12	0.7%
10	(10)	関西アーバン	10	0.6%

【運輸・通信】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	264	59.9%
2	(2)	きのくに信金	75	17.0%
3	(3)	三井住友	21	4.8%
4	(4)	南都	19	4.3%
5	(5)	商工中金	13	2.9%

【不動産】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	333	58.1%
2	(2)	きのくに信金	106	18.5%
3	(3)	三菱東京UFJ	30	5.2%
4	(4)	三井住友	22	3.8%
5	(5)	新宮信金	14	2.4%

【サービス】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	1,930	67.8%
2	(2)	きのくに信金	362	12.7%
3	(3)	三井住友	89	3.1%
4	(4)	三菱東京UFJ	71	2.5%
5	(5)	南都	57	2.0%
6	(6)	新宮信金	43	1.5%
7	(7)	第三	35	1.2%
8	(8)	商工中金	21	0.7%
	(9)	ゆうちょ	21	0.7%
10		紀南農協	20	0.7%

【農林・水産】

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	紀陽	46	52.9%
2	(2)	きのくに信金	10	11.5%
3	(3)	紀南農協	5	5.7%
4	(4)	紀の里農協	4	4.6%
	(5)	紀北川上農協	4	4.6%

4. まとめ

和歌山県下のメインバンクは上位2行の地元を地盤とする地域金融機関が高いシェアを維持しており、わずかではあるがシェアを拡大している。地域別でみると、和歌山市ではメガバンクが上位2行に続いているが、それ以外の地域では、地域密着型の信用金庫、農協などの金融機関が存在感を示している。また、業種別でみると、「建設業」「サービス業」ではトップの「紀陽銀行」のシェアが突出して高いことが判明した。

2017年5月に金融庁が実施した企業向けアンケートでは、経営上の課題をよく聞いてくれる地銀ほど、利回りの低下幅が緩やかとなる傾向が明らかとなった。今後も、「地域密着型金融（リレーションシップバンキング）」の役割が金融機関に対して一層求められるなか、こうした取引企業のニーズに応えられる金融機関こそ「メインバンク」として選ばれる可能性が高くなるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク和歌山支店 担当：馬場 基史

TEL 073-433-3128 FAX 073-422-6190

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。